「確かな学力」の育成と家庭学習の習慣化に向けて

～ 日田市の子どもたちの未来のために、学校と家庭が手を取り合って ～

日田市の学力の現状（学力の強みと大きな課題）

【学力の厳しい現状】

全国・大分県学力調査において、小学校・中学校ともに全教科で全国平均を下回る厳しい状況。早急な改善が必要です。

【学力の強み】

「勉強が好き・わかる」割合は全体的に増加傾向です。

「ものごとを最後まであきらめずにやりぬく」割合が全国値以上です。

（小５:82.4%、中２:80.5%）

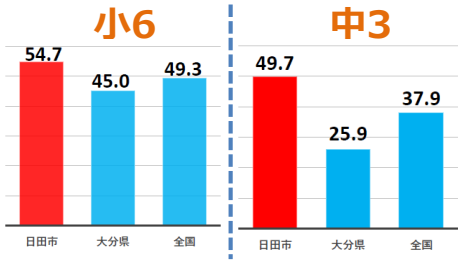
【課題】

全国的にも同様のことが言えますが、家庭学習の時間が年々短くなっています。

また、テレビゲームやスマートフォンの使用時間は長くなっています。

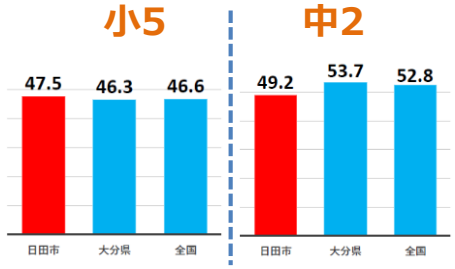
データで見る学習・生活習慣の課題と成果

平日家庭学習
「１時間未満・全くしない」割合
※数値が低いほど良好



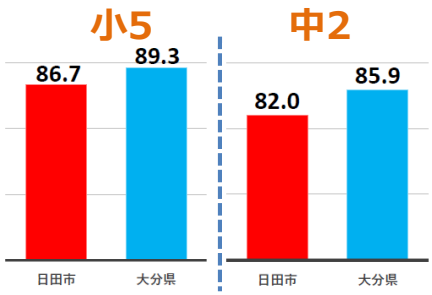
学習時間の確保が最優先課題

授業に集中できないことがある
「一度もない・ほとんどない」割合
※数値が高いほど良好



集中して学べる環境作りを推進

ICT活用で理解・関心が深まった



タブレット活用で効果的な学習

2学期開始！ 日田市統一で取り組む「学力向上アクション」

日田市教育委員会が、進捗を把握しながら取り組むアクション

■ AIドリル（Qubena）市統一ドリルの配信と定着把握
市全体の定着状況を分析し、弱点問題を再配信。（小1・2は紙の市統一ドリルを実施）

■ 教職員研修＆学校の要望に応じた支援の充実
夏季実践研修や授業公開、実態に応じた類似問題の提供など各学校へのサポートを徹底。

各学校が、必ず取り組む 3つの重点アクション

① 1時間ごとに「付けたい力」を明確にした授業づくりをします
単元の計画を立て、毎時間「付けたい力（めあて）」をはっきり持って授業に臨みます。

② 「授業終わり5分間」で定着しているかの確認を必ず実施します（最重点）
本時で付けたい力が付いたかを、まとめの記述・練習問題・振り返りで、毎時間確実に把握します。

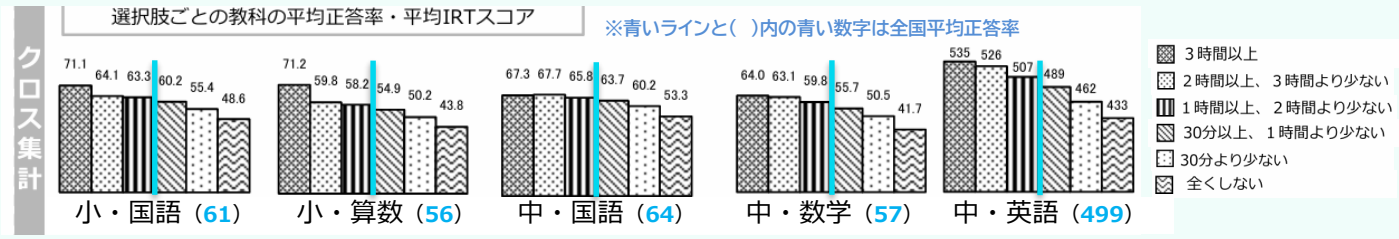
③ 授業時間以外に全教職員体制で、個別・補充学習を実施します（「伸ばす教育」の推進）
教科を越えて、すべての教員が個別・補充学習に入ります。
帯時間や放課後を活用して、「一人ひとりがあと1問解ける」「一人ひとりの『できた』『わかった』」を増やします。

※本チラシは文部科学省・国立教育政策研究所分析および全国・大分県・日田市学力調査データを基に作成しています。

全国学力調査のクロス集計分析から見えた『学力アップの鍵』

【1日の適切な家庭学習時間】

全国調査 クロス集計データの分析から、高い正答率と結びついている平日の学習時間



小学校・中学校ともに、「1時間未満」の平日学習時間では平均正答率に達しない傾向

市内中学校の実践成果：「自立した学習」で数値が大幅アップ！

日田市指定研究「自立した学習者育成事業」で市内中学校の取組において、
子ども自らが計画・振り返りを行う自立した学習を充実させた結果、学習量と調査結果の数値がともに大きく向上しました。学校からの家庭学習の出し方にも工夫がありました。

保護者の皆様へ

ご家庭で今日からできる「学習サポート＆声かけのコツ」

【家庭学習の「黄金ルール」】

■ **学習時間の目安**
「学年 × 10分 ＋ 10分」を
毎日の目標に！
（例: 小4は50分、中2は90分）

■ **決まった時間のルーティン化**
宿題を始める時間を子どもと一緒に決め、毎日の習慣にします。

■ **集中できる環境づくり**
机の上を整理し、テレビやスマホが目に入らない工夫やスクリーンタイムの設定をしましょう。

【学力を伸ばす「声かけ」のコツ】

■ **問いかけの転換**
「宿題やったの？」(指示)
➔「今日何から始める？」
(見通しを持たせる問いかけ)

■ **プロセスを具体的に褒める**
テストの点数だけでなく「毎日続けられたこと」「間違えた問題を解き直したこと」を褒める！

■ **会話からスタート**
「学校の勉強のことを話題にする」ことで、勉強時間や学習意欲が自然とアップ！

まずは今夜、ご家庭で「学校の勉強のこと」について温かく会話することから始めてみませんか。

日田市が目指す未来の教育

日田市では、子どもたちが自信を持って社会を生き抜く「基礎基本の学力」を確実に身に付けるため、一人ひとりを伸ばす教育を中心に据え、
学校・家庭・地域が一丸となった取組を目指してまいります。

日田市教育委員会　2026年10月

※本チラシは文部科学省・国立教育政策研究所分析および全国・大分県・日田市学力調査データを基に作成しています。